

5月は、関東地域に地震が数回ありました。園での月1回の避難訓練にも緊張感がありました。お子様方は、職員の緊張感あふれる声を聴き、泣くことなく、話を理解することができるようになってきました。防災頭巾を被ることも学年ごとに習熟度を上げていきたいと思えます。6月に「引き取り訓練」があります。ご協力、よろしくお願いします。

楽しい時・一生懸命やっている時・すごい！っていう時の顔・顔・顔

先日は、年長児、年長児の「うんどうかいごっこ」をホールで行いました。年中さんが、初めて玉入れをしました。お子様方は背の高い玉入れのかごと紅白の球を見つめ、スタートの笛が鳴るのを今か今かと待っています。ほっぺたから、くちびるからお子様たちのウキウキする気持ちがこんなに伝わってくるとは驚きでした。思っていたよりもかごは高かったのでしょうか。こぼれ落ちる球をすぐに拾い、またすぐに投げる…結果はどちらも10点の同点でした！



年長さんの「一人技」は、体形を維持しようと全身に力がこもっていました。お子様自身が「ヨット！」と演技名を言うとともに、指先、足先、腹筋にまで力がみなぎっていました。

コロナ禍でしばらく演技名を言いませんでしたが、「復活」です！そして運動会では一人技以外にも挑戦できそうです！

最後は、根本先生が縄跳びを披露してくださいました。



お子様たちは相手を崩し、根本先生に拍手を送りました。

「すごい！」「じぶんもできるかな？」「やってみよう！」と思う「熱中サイクル」が、教育現場で生かされています。

「つ」と「く」はかけるよ。
「え」がかけると「つくえ」がかけるね。

「つ」と「く」のひらがな書きを終えた年長さん、
なんて素敵な発見なのでしょう！

うわまち幼稚園では、「字」を学ぶ時、『「字」は言葉から、「言葉」は文章から』を基本としています。2歳児から、「あひるのあ、あいさつのあ」などと、言葉をどんどん声に出していきます。年少さん以降は「あひるのあちゃん あいさつありがとう」等、文章を復唱・暗唱していきます。「あ」を覚えるとき、「あめのあ」「あかちゃんのあ」「あいすくりーむのあ」と覚えれば、どれだけ楽しいでしょう。満を持して、年長児が鉛筆を持って字を書く時は、既にたくさんの言葉が頭の中にあり、うずうずしているのですね。

字を書き上げた時のお子様の高揚感を感じ取りたいものです。

©2023 幼保連携型認定こども園うわまち幼稚園長 嶋田むつみ

